

京都市の森林・林業に関する施策

京都市 産業観光局
農林振興室 林業振興課

京都市の森林林業に関する施策

森づくりの分野～森林林業の活性化～

- ・林業支援(人工林の森林整備に係る経費助成)
- ・森林保全対策(森林病害虫対策、森林景観保全対策)

木のあるまちづくりの分野

- ・木材需要拡大対策
(市内産木材みやこ杣木の需要拡大・普及啓発)

森づくりの分野～森林林業の活性化～

(1) 林業支援(間伐の推進)

森林整備事業、森の力活性利用対策

- ・森林整備を計画的に推進し、森林の有する多面的機能の維持・増進と森林の保全を図るとともに、二酸化炭素吸収源としての森林の整備にかかる経費(植林、間伐等保育、シカ防除柵の設置、作業路開設)を助成



高性能林業機械による間伐と間伐材の搬出

(2) 森林整備(森林保全対策)

事業名		事業概要
森林病害虫雪止対策事業	松くい虫防除	松くい虫による被害防止のための薬剤の散布、駆除、伐倒処理等
	森林健全化強化促進	カシノナガキクイムシによる被害防止のための駆除及び処理
	ナラ枯れ被害緊急対策	ナラ枯れ木による市民生活への被害防止のための伐倒
「伝統文化の森」推進事業		東山風景林の管理・整備及び活用をモデルとして、市民や法人の参画による森林の保全・整備等を推進する京都伝統文化の森推進協議会に対する補助
四季・彩りの森復活プロジェクト		京都三山における、ナラ枯れ、松枯れ等による荒廃した森林を復活させるため、被害跡地への植栽等や伐採木の搬出・利用を市民団体等多様な主体による協働活動により取り組む



マツ枯れとアカマツ林の後退



ナラ枯れが拡大する東山連峰

木のあるまちづくりの分野

木材需要拡大対策

京都市木材地産表示制度（みやこ杣木（そまぎ）認証制度）

京都市における市内産木材製品の地産、品質、性能等の表示を行う制度

市内産木材供給対策支援

市内産木材の利用促進のため、市民を対象とした助成制度を設定

・リフォーム等による住宅等の内装の木質化

・木製の屋外広告物（看板）の設置

京の山杣人工房事業

京都市地域産材の需要拡大を目的に、市内産木材を使用したリフォームのモデル工場の設置及び運営支援、リフォームを実施する市民等に対する地域産材の供給を行う事業

京都市公共建築物等における木材利用基本方針

林業の持続的発展と健全な森林の整備・保全を図るため、京都市が率先して木材利用に取り組むことで、民間への市内産木材の需要拡大につなげる。

木質ペレット需要拡大事業

木質ペレットを燃料とするボイラー・ストーブの導入支援により、

木質ペレットの需要拡大を進め、森林資源の有効活用と温室効果ガスの削減を図る。

～H28のトピックス～

3本の柱で施策を展開

災害に強い森づくりの推進

京都らしい森づくりの推進

木のあるまちづくりの推進

～H28のトピックス～

災害に強い森づくりの推進

目的：二次災害の危険性を高める伐採放置木等の撤出利用を促進し、

災害に強い林内環境への改善を図る

内容：①京都市内産木材の他産地材との競争力を高めるため、条件不利地から撤出する経費に對して補助

②森林整備の基幹施設となる林道等の簡易な維持管理活動の支援

京都らしい森づくりの推進

目的：生育条件が悪く放置され荒廃した人工林において、森林の多面的機能を発揮させるため、多様な樹種が育つ、健全な森林の再生と京都らしい森林景観に寄与する森林施策の促進

内容：①放置荒廃林において、森林景観の形成や土壌流出の防止とともに、多様な樹種が生育する価値ある森林資源の育成を目指す、京都市がモデル的に立地条件に応じた適地適木による森林再生を実施

②国の補助要件を満たさない間伐や北山丸太スギ特有の枝打ち施策について、本市の独自施策として補助

～H28のトピックス～

木のあるまちづくりの推進①

目的：木材の生産・加工から消費に至る循環型の流れを促進するため、市内産木材の新たな利用に向けた取り組みとして、市民をはじめ木材利用に関係する建築士等に広く市内産木材の利活用を啓発

① 若手建築士に向けての木材設計セミナーの開催

② 木質ペレット燃料の普及促進

③ 北山丸太の新たな使い方のデザイン制作

④ 京都市の林業や木材に関するリーフレットの作成



木材設計セミナー



ペレットストーブの展示



リーフレットの作成

～H28のトピックス～

木のあるまちづくりの推進②

目的：全国の消費者や事業者が北山丸太に実際に触れる機会を創出し、需要喚起へと繋げる。

首都圏での建築・建材展2017に出展し、北山丸太の魅力を事業者等にPR

茶室などの従来用途に加え、ベンチやパーティションなどの従来用途の提案を行った。



建築・建材展2017(東京ビッグサイト)への出展(3/7～3/10)

来場者数：102,695人 ブースでのアンケート回収約1000人

京都の和の文化「北山丸太」を全国にPRできたと同時に、ベンチやパーティションへの関心が高く、今後の商談に繋がるの可能性



今後 北山丸太と事業者等による意見交換会を実施し、普及拡大への課題を探る

～H29のトピックス～

引き続き、三本の柱を維持して施策を展開(予定)

災害に強い森づくりの推進

- 適切な森林施策(補栽、下刈り、間伐等)への補助
- 林道の改善などへの補助
- 林内放置木の搬出・運搬等に係る経費の補助
- 市域における集中的な森林整備を進めるため、所有者不明森林の状況把握等
- シンカ、イノシシ、サルなどの有害鳥獣対策 等

京都らしい森づくりの推進

- ナラ枯れ、松枯れの防除とともに、京都三山における森林病虫害等被害跡地への植栽等や伐採木の搬出・利用等
- 生育条件が悪く放置され荒廃した人工林において、多様な樹種が育つ、健全な森林の再生に取り組むとともに、四季の影が感じられる京都らしい森林景観に寄与する森林施策を促進

木のあるまちづくりの推進

- 市産木材や木質ベレットの普及啓発や利用促進
- 北山丸太の普及を図るため、新たな販路の拡大やブランド力の強化に生産者と共同で取り組む

～H28のトピックス～

木のあるまちづくりの推進③

目的：住宅や商業施設等に対して北山丸太の利用を促すため、北山丸太の新たな使い方の提案する。



展示空間の設置(四条河原町のマルイ、現在施工中)